



Miura city council news

# みうら市議会だより

2020.5.1 第141号



- 令和2年度予算成立
- 臨時会を開催
- 新型コロナ対策で議会災害等  
対策本部を設置、国に意見書を提出
- 二町谷地区埋立地の売買契約を締結



# 総務経済

## 三月五日の審査

### ◎三浦市印鑑条例の一部を改正する条例

本案は、印鑑の登録資格の欠格事項から「成年被後見人」を除き、「意思能力を有しない者」を新たに規定するものです。

(質疑の主な項目)  
・意思能力を有する者の判断の仕方について

### ◎令和元年度三浦市一般会計補正予算(第五号)

本補正は、歳入歳出それぞれ三千六百万八千二百円の追加等を行うものです。

(質疑の主な項目)

・昨年の台風被害に伴う、中小企業や農業者への支援について

### ◎令和元年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出それぞれ二十二万一千円を減額するものです。

(質疑の主な項目)

・土地貸し付けによる収入が増加した理由について

## 三月二十七日の審査

### ◎三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例

本案は、三崎魚市場における卸売業者の許可に関する規定の整備や、市場取引における規制の廃止等を行うものです。

(質疑の主な項目)  
・規制の廃止により、仲買人以外の者の売買が可能になることについて

・規制の廃止による仲買人への影響について

(質問) 仲買人以外に、どのような事業者が入札に参加すると想定している



4月8日に初取引が行われた改修後の沿岸卸売市場

のか。

(答弁) 飲食店や小売店が考えられるが、仲買人と同様に、卸売業者との売買契約を結ぶことが参加の前提となっている。

### ◎財産の処分について

本案は、二町谷地区の土地七万七千八百平方メートルを二十六億七千万円で(株)安田造船所と興和㈱に売却するものです。

(質疑の主な項目)  
・土地の売却価格を決定した根拠について  
・設置する浮き桟橋の数と位置の変更について

(質問) 売却地における事業計画は、今後、一年間かけて作成していくとのことだが、どのように取り組まれるのか。

(答弁) 売却相手の二社が合併会社を設立し、今までの計画を見直して、一年をかけて事業計画の作成に取り組んでいく。

(意見) 今後、実効性のある事業計画を作成して、地域経済を活性化させてほしい。

# 都市厚生

### ◎三浦市国民健康保険条例の一部を改正する条例

本案は、国民健康保険の基礎課税額等の税率や税額を改定するものです。

(質疑の主な項目)  
・今回の改定による国民健康保険税の額への影響について

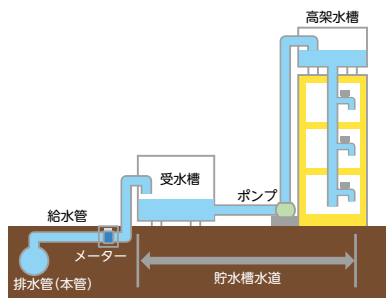
(質問) 今回、一部の所得の少ない世帯の保険税が引き上げになる。市として何か工夫ができなかったのか。

(答弁) 県が示す標準保険料率にのっとって計算した結果、このような形になった。医療費全体を削減するための取り組みを引き続き行いたい。

### ◎三浦市小規模水道及び小規模受水槽水道における安全で衛生的な飲料水の確保に関する条例の一部を改正する条例

本案は、小規模貯水水道等の定期検査の頻度の見直し等を行うものです。

(質疑の主な項目)  
・この条例の対象となる施設について  
・小規模貯水水道の検査方法について



(質問) 今回、一部の所得の少ない世帯の保険税が引き上げになる。市として何か工夫ができなかったのか。

(答弁) 県が示す標準保険料率にのっとって計算した結果、このような形になった。医療費全体を削減するための取り組みを引き続き行いたい。

(質問) 今回、一部の所得の少ない世帯の保険税が引き上げになる。市として何か工夫ができなかったのか。

(答弁) 県が示す標準保険料率にのっとって計算した結果、このような形になった。医療費全体を削減するための取り組みを引き続き行いたい。

について

### ◎三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例

本案は、配水管や給水装置に関する図面の写しの交付について、手数料を新設するものです。

(質疑の主な項目)  
・手数料を一件三百円とした根拠について  
・条例の施行日を七月一日とする理由について

(質問) 新設した手数料によって、どのくらいの収入があると見込んでいるのか。

(答弁) 一カ月に五十件の交付があると想定しており、令和二年度は、条例施行後の九カ月間で十三万五千円を見込んでいます。

### ◎令和元年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出それぞれ千三百五十七万七千円を追加するものです。

(質疑の主な項目)  
・介護保険給付費等支払準備基金の基金残高について

# 第一回 臨時会

一月三十一日に臨時会が開かれました。

ふるさと納税について、想定を上回る寄付があり、寄付してくださった方への記念品にかかる経費に不足が生じました。このため、補正予算議案が提出され、総務経済常任委員会で審査を行いました。

## 総務経済

◎令和元年度三浦市一般会計補正予算(第四号)

本補正は、歳入歳出それぞれ四億二千四百五十一万円を追加するものです。

**質問** 寄付金額別では、どのくらいの金額帯が多いのか。寄付金額の傾向をお聞きしたい。

**答弁** 一番多いのが「二万円以上」で、次が「二万円以上」「その次が一番人気のあった記念品(ホテル宿泊券)」が贈られる「五万円以上」だった。

平均すると一人約三万円の寄付をいただき、一人当たりの最高額は二百万円だった。

**質問** ふるさと納税は、寄付者が寄付金の使い道を選ぶことができる。どういった事業に使ったのか公表はしているか。

**答弁** 使い道が指定された寄付金については、寄付金を使った行われた事業を市のホームページで公表している。

「使い道はおまかせ」が選択された寄付金は、財政担当が検討して使い道を決定している。

**質問** 今後、一月から三月までの寄付金の見通しはどのようになっているか。

**答弁** 今回の寄付金の伸び率を、昨年の件数に掛けた額を見込んでいる。



## 新たに提出された陳情

◎三浦市立病院の存続を求める陳情書

**趣旨** 本陳情は、厚生労働省が、公立病院を対象に「再編統合

について特に議論が必要」と分析し、公表した中に、三浦市立病院が含まれていたことに対するものです。

三浦市立病院を存続することと、本件について関係機関に意見書を提出することを求めています。

◎国に対して、公立・公的病院の「再編・統合」の強制を改めることの見書提出を求める陳情

**趣旨** 本陳情は、厚生労働省が、全国四百二十四の公立病院に

関して「再編統合について特に議論が必要」とする分析結果と対象病院名を公表したことに対するものです。

地域的・個別的な事情を考慮せずに全国一律の基準で再編・統合の検討を求める方法を改めること、こういった行為を二度と行わないことについて、国に意見書を提出することを求めています。

## 請願書・陳情書の提出方法

☆請願書・陳情書はどなたでも提出することができます。請願は、紹介議員が必要です。

☆書式等は、次の例にならってください。

・用紙はA4判を使用し、文字は横書きとしてください。

・趣旨は簡潔明瞭に書いてください。

・内容が幾つかにわたる場合(道路問題と学校問題など)は、別の請願(陳情)としてください。

・請願(陳情)者が複数の場合は、代表者を決めてください。

☆請願(陳情)者は、付託された委員会に出席して趣旨説明ができます。(前日までの申し出が必要です)

☆詳しくは、三浦市議会ウェブサイトをごらんいただくか、議会事務局にお問い合わせください。

(請願書の表紙)

〇〇〇についての請願書  
紹介議員 〇〇〇〇 印  
〇〇〇〇 印  
(署名または記名押印)

(請願書・陳情書の本文)

〇〇〇についての請願(陳情)書

請願(陳情)の趣旨

請願(陳情)の理由

令和 年 月 日  
三浦市議会議長 様

住所  
氏名 〇〇〇〇 印  
(法人の場合は名称、代表者名)

# 予算審査特別委員会

議案の審査概要

## 一般会計

### 歳入

- ・ 市税収入の傾向について
- ・ 税の徴収強化に向けた体制づくりについて
- 質問** 財政調整基金から一般会計への繰入額が増加した理由は。
- 答弁** 水道事業会計への補助金や人件費の増加、会計年度任用職員への対応など、大幅な財源不足が見込まれたため。

### 歳出

- 総務費**
  - ・ 移住定住の促進に向けた取り組みについて
  - ・ 市役所の再任用職員や会計年度任用職員の数について
- 民生費**
  - ・ みつらっ子応援プロジェクトの目標について
  - ・ ひとり親家庭への支援

### 意見

- ・ 病後児保育実施に向けた取り組みについて

### 意見

- ・ いわゆる福祉三療費の助成実施に対して国から三千万円を超えるペナルティーが科されている。よい事業を行うことに対してペナルティーが科されるのは、つじつまが合わない。
- 衛生費**
  - ・ 産後ケア事業で新たに実施する宿泊サービスの内容について
  - ・ 環境センター改修の事業計画について

### 意見

- ・ 二十代の子宮頸がん検診が無料化される。がん検診は無料クーポンを配付しても受診率が上がらない現状があるので、広報紙などのほかにも、新たな周知方法を検討してほしい。

### 商工費

- ・ 教育旅行誘致の対象を広げるための方策について
- ・ 観光解説板の整備について

### 土木費

- ・ コロナウイルス感染症対策のために中止したイベントについて
- ・ 市営住宅のうち、令和二年度に解体を予定する場所について

### 土木費

- ・ 浜諸磯陸橋の修繕工事の内容について
- ・ 宮川公園への風車設置と駐車場の整備について

定スケジュールについて

安全・安心な三浦野菜のPRについて

路拡大について

災害資機材は、どのようなものを整備する予定か。

自主防災隊に配備するスタンドパイプや、災害時の連絡手段となる無線機を整備する。そのほか、みつらっ子応援プロジェクトの寄附金を活用して、子供のための備品や食料の備蓄を行う。

海洋教育やグローバル教育の推進について

小中学校の就学援助事業について

今後の市債残高と実質公債費比率の見込みについて

特定健康診査の受診率向上について

広域連合納付金が増加した要因について

延滞金の積算方法について

認定調査に要する期間を短縮するための取り組みについて

新たな地域包括支援センターの設置について

種苗放流や食害生物の除去など、漁業者への支援について

カツオやキンメの漁船誘致について

市場内の貸し事務室の入室数について

水産関連施設事業用地に進出予定の事業者との協議内容について

三七ク債の借り換え後の利率について

特定健康診査の受診率向上について

広域連合納付金が増加した要因について

延滞金の積算方法について

認定調査に要する期間を短縮するための取り組みについて

新たな地域包括支援センターの設置について

種苗放流や食害生物の除去など、漁業者への支援について

カツオやキンメの漁船誘致について

市場内の貸し事務室の入室数について

水産関連施設事業用地に進出予定の事業者との協議内容について

三七ク債の借り換え後の利率について

特定健康診査の受診率向上について

広域連合納付金が増加した要因について

延滞金の積算方法について

## 企業会計

### 病院事業

- ・ 市立病院の医師の体制について
- ・ 外来患者数の見込みについて
- ・ 更新を予定している医療機器について

### 水道事業

- ・ 給水収益が減少した要因について
- ・ 老朽管の更新箇所について
- 公共下水道事業**
  - ・ 公共下水道への接続促進について
  - ・ 三崎・初声地区における排水処理の見通しについて

### 意見

- ・ コンセッション方式による事業を進めるため、早期に実施方針案等を作成することを求める。
- 意見** 下水道事業はインフラの部分があるので、\*コンセッション方式により民間に任せることは疑問である。

## 特別会計

### 国民健康保険事業

- ・ 医療費抑制のための取り組みについて
- ・ マイナンバーカードに保険証機能を付与するためのシステム改修について

### 第三セクター等改革推進債償還事業

- ・ 水産関連施設事業用地に進出予定の事業者との協議内容について
- ・ 三七ク債の借り換え後の利率について

\*コンセッション方式により民間に任せることは疑問である。

※コンセッション方式：



宮川公園の風車

### 消防費

- ・ 土砂災害警戒区域の指

料金収入がある公共施設の事業運営において、市が所有権を有したまま民間事業者が施設を利用して事業を行う手法

質疑の終了後は、各会計予算に対して、委員から討論が行われました。

**一般会計**

**小林直樹委員 反対**

就学援助制度の支給額を国基準にし、支給対象世帯を横須賀市と同じ生活保護基準の一・五倍にすることを求める。

**長島満理子委員 賛成**

持続可能な企業等誘致プロモーション事業などへの取り組みを評価する。

**溝川幸二委員 賛成**

みづらつ子応援プロジェクトや小中学校の就学援助事業において、子育てしやすい施策を進めることは評価できる。

**国民健康保険事業**

**小林直樹委員 反対**

マイナンバーカードを保険証として扱えるようにするシステム改修の予

算が計上されているため。

**後期高齢者医療事業**

**小林直樹委員 反対**

後期高齢者医療制度は、包括払いなど年齢で医療を差別するものであり、制度そのものに反対である。

**第三セクター等改革**

**推進債償還事業**

**小林直樹委員 反対**

この会計は、無謀な一町谷埋立事業の失敗で生じた借金を返済するためのものである。

**公共下水道事業**

**小林直樹委員 反対**

コンセッション方式で民間事業者に運営権を設定すると、市が責任を持つて公共下水道事業を行えるのか疑問である。

**予算審査**

**特別委員会**

- 委員長 神田 眞弓
- 副委員長 藤田 昇
- 委員 蓮本 一朗
- 溝川 幸二
- 長島満理子
- 出口 正雄
- 小林 直樹

# 本会議における討論

## 令和二年度三浦市一般会計予算

**反対**

日本共産党 小林 直樹

高齢者の健康を守るための肺炎球菌ワクチン予防接種の自己負担は、三浦市では四千元だが隣の横須賀市では三千元である。三浦市も同額にすることが必要である。

就学援助制度は、支給額や支給対象世帯について不十分な援助制度だと言える。全ての児童・生徒が安心して教育を受けられるよう求める。

厳しい財政状況の中、財政推計を行い、的確で計画的な財政運営が求められる。むだをなくし、公正で民主的な住民本位の行財政運営で、市民の生活と営業を守ることを求める。

**賛成**

自由民主党 出口 正雄

令和二年度予算編成は、水道事業の経営安定化、高齢化や人口減少への対応等、市民生活に深くかかわる課題に対し、スピード感を持った施策展開がされている。

三浦市への新しい人の流れをつくるべく、子育て賃貸住宅や移住定住促進事業を展開するなど、未来を見据えた取り組みへの姿勢が感じられる。また、未来を担う子供たちの生活環境向上にも努めている。

自治体経営の環境はますます厳しいものになってきている。新たな雇用の創出と地域の活性化のために、企業誘致や既存産業の支援等に取り組んでほしい。



**賛成**

公明・みづらクラブ 藤田 昇

歳入増加策である、ふるさと納税活性化事業では、寄附金の件数、金額の見込みが伸び、職員の結果として出てきている。また、クラウドファンディング型ふるさと納税「みづらつ子応援プロジェクト」では、子育てに優しい環境整備が図られる。

市民の命を守る災害への備えとしては、防災無線の維持管理とデジタル化、津波被害からの復旧に寄与する地籍調査が引き続き行われることは評価できる。

令和二年度も、吉田市長と市職員が一体となって、市民生活の安全・安心と生活向上が図れる市政運営を期待する。



## 財産の処分について

**賛成**

自由民主党 長島満理子

三浦市の重要課題である二町谷地区用地活用について、多目的活用事業用地では、株式会社安田造船所との土地売買契約の締結がなされたことは、三浦市にとって大きな成果である。

また、水産関連施設事業用地では、地元水産関連企業との定期借地権契約ができる見通しであることや、進出を前提に学校法人と協議がされていることなど、市長を中心に職員が一丸となって取り組んだ成果を称賛する。

これからも、より一層、業務にまい進することを期待する。

# 姉妹都市交流



二月三日、四日に姉妹都市である長野県須坂市の議員十六人が、三浦市を来訪しました。

三日には、まず研修会を行い、三浦市議会の正副議長及び各委員長が出席し、それぞれの議会における取り組みを報告した後、意見交換を行いました。その後、全議員での交流会を行いました。

四日には、市内視察を行い、草間議長、藤田副議長が、低温卸売市場や三浦海岸地区の河津桜などを案内しました。



## 災害を乗り越えての交流

副議長の藤田です。

今回の須坂市議会との姉妹都市交流は、当初、昨年十月に予定していましたが、須坂市では、台風十九号により千曲川が氾濫するなど甚大な被害を受け、本年二月に延期されました。被災された果樹農園を経営する議員さんもいるなど、大変な状況の中での姉妹都市交流となりました。

三日の研修会では、議会の運営など意見交換を行い、交流会では友好を深めることができました。翌日には、マグロ低温卸売市場の競りの現場視察及び河津桜の小松ヶ池周辺を散策。また、「うらり」では、お土産としてマグロや三浦大根など三浦の特産品を購入いただきました。姉妹都市として大変に有意義な交流を図ることができました。

## 人事

市長から、次の方々を人権擁護委員として法務大臣に推薦することについて意見を求める諮問が提出され、異議なき旨、答申しました。

### 人権擁護委員

- 菊池 恵 氏
- 植坂 泰雄 氏
- 白勢 順子 氏
- 永井 朋子 氏

人権擁護委員は、法務大臣に委嘱された民間の方々です。法務局の職員と協力して、地域の皆さんからの人権相談を受け、問題解決のお手伝いをするほか、人権教室などの啓発活動を行っています。任期は三年で、三浦市では九人の委員が活動しています。



## 表紙写真の紹介

### 紹介

議長の草間です。

今回の写真は、四月三日に撮影した、城ヶ島公園東側高台に完成した二代目の安房埼灯台です。

平成二十八年には日本ロマンチスト協会から「恋する灯台」に認定された、城ヶ島の観光スポットの一つであります。

二代目の安房埼灯台は、

沙綾香さんの作品「とんがり屋根の灯台」です。深澤さんの作品は畑から海が見える三浦市のイメージから野菜をモチーフに、その野菜のさわやかさを表現したそうです。

初代安房埼灯台は、高さ約十一メートルで、昭和三十七年から海上の安全をまもるため点灯されていましたが、今年の三月八日から二代目にバトナタッチし、役目を終えました。

横須賀海上保安部と城ヶ島活性化協議会が建て替えるに合わせて城ヶ島観光のシンボルとしてふさわしい灯台のデザインを公募しました。

私の見た感想は、高さ十六メートルの大ききさわやかな青首大根でした。これから東京湾を航行する船舶の安全な航行を支えるとともに、多くの観光客に愛される灯台になることと思います。

## 広告を募集します！

三浦市議会では、「みうら市議会だより」に掲載する広告を募集します。

発行回数：年4回

広告規格及び掲載料

例／縦4.2cm×横6.3cm

1回につき

・カラーページ 12,500円

・単色ページ 9,500円

市内各世帯（およそ17,500部）と市役所、市民センター、市立病院、駅などに配布しています。

こちらが縦4.2cm×横6.3cmの実際の大きさです。大きなサイズもあります。

詳しくは、議会ウェブサイト内の募集ページをご覧ください。



# 本会議での議案等の審議結果

## 《全員賛成で議決した議案》

### 【議案】

- 第1号 令和元年度三浦市一般会計補正予算（第4号）
- 第2号 三浦市印鑑条例の一部を改正する条例
- 第3号 三浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 第4号 三浦市小規模水道及び小規模受水槽水道における安全で衛生的な飲料水の確保に関する条例の一部を改正する条例
- 第5号 三浦市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
- 第6号 三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 第7号 令和元年度三浦市一般会計補正予算（第5号）
- 第8号 令和元年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 第9号 令和元年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計補正予算（第1号）
- 第13号 令和2年度三浦市介護保険事業特別会計予算
- 第14号 令和2年度三浦市市場事業特別会計予算
- 第16号 令和2年度三浦市病院事業会計予算
- 第17号 令和2年度三浦市水道事業会計予算
- 第19号 三浦市三崎水産物地方卸売市場条例の一部を改正する条例
- 第20号 財産の処分について

### 【諮問】

- 第1号 人権擁護委員の推薦について

### 【意見書案】

- 第1号 新型コロナウイルスへの緊急対策を求める意見書

## 《賛否が分かれた議案》 ○賛成 ●反対

番 号	件 名	審議結果	自由民主党				公明・みうらクラブ			日本共産党		明日の三浦		無所属
			草間道治	長島満理子	出口正雄	神田眞弓	出口眞琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	石渡道臣	
【議案】 第10号	令和2年度三浦市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○	
第11号	令和2年度三浦市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○	
第12号	令和2年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	※	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○	
第15号	令和2年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○	
第18号	令和2年度三浦市公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	欠	○	○	

※ 議長は表決に加わらない

# 一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をたずくことをいいます。第1回定例会では、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、マスクを着用して本会議に出席しました。



事故現場付近道路 (蓮本撮影)

**質問** 逗子市で崖崩れがあり女子高校生が巻き込まれる事故があった。三浦市にも同様な危険箇所があると思うが調査を実施したか。

**市長** 大変痛ましい事故であった。担当部に市内の危険箇所の調査を指示した。

**都市環境部長** 市内の通学路に近接する場所、土砂災害警戒区域を含め高さ五メートル以上の斜面地と過去に道路隣接斜面地点検箇所計六十九カ所について崩落の前兆と見られる事象がないか

**逗子市崖崩れ等**  
子どもの貧困・三崎漁港開発  
明日の三浦 蓮本 一朗

点検した。

**質問** 子どもの貧困に関する報道が多くなっている。本市での貧困状態にある子どもへの支援、及び貧困世帯に対する支援を伺う。

**保健福祉部長** 教育支援として、令和元年十月から幼児教育・保育を無償化している。また、神奈川県の高校、大学等への進学資金貸付の受付業務を行っている。

生活の安定に向けた支援として妊娠出産期や乳幼児期の支援として子育て世代包括支援センターを開設して妊娠から出産・子育て期にわたって支援している。保護者の職業生活の安定向上支援として、対家の教育訓練の受講費用の六〇%を支給している。経済的支援として児童手当、児童扶

養手当制度を実施している。また、母子生活支援員を配置して、ひとり親家庭の自立に必要な相談、援助を行い、神奈川県的生活資金や転宅費用貸付の受付業務を行っている。

**質問** 三崎漁港の利活用の現状と現在進行中の取り組みや計画について伺う。

**水産担当部長** 三崎漁港は遠洋マグロ漁船の揚げ港として、また沿岸、沖合漁業の魚介類や養殖活魚の首都圏等への供給基地としての役割を担っている。また、海業の振興としてゲストバスやうらりマルシェを漁港内に設置して漁港を多目的に活用する取り組みが進められている。現在、三崎漁港水産業・漁港を核とした振興ビジョンを踏まえ、二町谷地区の用地利活用プロジェクトやスーパーヨットの誘致等、関係者が連携して漁港地域の活性化を目指した取り組みが進められている。





## 深夜のタクシー

新型コロナウイルスへの対応

無所属 寺田 一樹

**質問** 最近、深夜にタクシーがつかまりにくくなっている。タクシーがつかまるうちに帰宅するケースが増え、夜間の地域経済にも影響が出ている。市としては、この状況をどう捉えているのか。

**政策部長** タクシーが深夜につかまりにくい状況は承知している。タクシー業界は、高齢化が進み、従業員や車両も減り、経営に苦慮している状況があると認識している。

**質問** 兵庫県養父市では、国家戦略特区を活用してライドシェアサービスを実施している。本市でも深夜のタクシーの代替手段を確保することを目的に、一般の方の力を活用できるように規制の撤廃に取り組んでみてはどうか。

**政策部長** 国家戦略特区の活用も含め、具体的な

相談があったら検討し、支援していきたい。

**質問** 新型コロナウイルスの流行以降、全国の観光地で客足が伸びず閑散としているとの報道を目にしているが、本市の観光産業に与える影響はどうか。

**経済部長** 感染拡大による観光や経済に与える影響は少なからず出ていると認識している。

**質問** 新型コロナウイルスによって、東日本大震災と同程度、あるいはそれ以上の地域経済の落ち込みが懸念される。事業者に対して経営支援策を講じる必要があると考えられているが、今

後の市の対応について伺う。

**経済部長** 国や県が行う観光や経済に対する対策などの情報収集に努め、商工会議所とも連携しながら事業者の情報提供していきたい。

**要望** 新型コロナウイルスの影響は広範囲に及んできている。いつ収束するかわからない状況が不安を助長させている。市民の不安を解消できるよう、より積極的な情報発信に努めると同時に、市民が一丸となってこの危機に立ち向かっていけるよう、三浦市の行政力を最大限発揮してほしい。



## 感染予防対策

中小企業支援について

自由民主党 長島満理子

**質問** 新型コロナウイルス感染症について日々情報が更新されている。市民への情報は常に最新の情報を伝えられるように要望させて頂き、学校の休業、施設使用の自粛について市民に対して市長の考えを聞く。

**市長** 市民の皆様にも高い意識を持って頂いて、基本的な感染防止に関する手洗いの徹底や、マスクといったことを防止対策として頂く。市としてできる限りのことはしていることと申している。三浦市として、市民の皆さんの感染がいつ起こるか分からない状況の中、敏感に、迅速な対応をしていく。

**質問** 今後、イベント開催の延期や中止が決定されていくと思う。経済に影響が出てくるのではな

いかと心配される。中小企業庁が募集している商店街活性化・観光消費創出事業による補助金を活用できないかと考えるが、いかがか。

**経済部長** 商店街活性化・観光消費創出事業は新型コロナウイルス対策とは別のメニューとなるが、商店街を活性化させる魅力の創出させるためのもので、中小企業庁が募集しているものである。今後も国の動向を注視しながら、引き続き商店街等を支援してまいりたいと考えている。

**質問** 子育て賃貸住宅整備事業について、今後のスケジュールについて多くの市民が詳細を知りたいと思っている。施政方針では令和四年度までに本事業の全体の整備が完成するとあるが、大まかなス

ケジュールを伺う。

**市長** 令和二年七月に募集要項及び要求水準書等を公表し、引き続き募集要項等の説明会を経て、PFI事業者の公募及び選定を行う予定である。

令和三年三月には事業者と契約を締結して、基本設計、実施設計を策定し、許認可申請等の手続を進め、許可を得ていく。令和三年度には南下浦市民センターの解体を行い、令和四年度には当該施設等を完成させ運用を開始するスケジュールになっている。難易度の高い事業であり、検討する課題等も少なくないと考える。高い壁にぶつかかることも想定されるが、関係部署と連携し、慎重かつスピード感を持って本事業を進めてまいります。



新型コロナの影響を受け開催を自粛する三崎朝市



三浦海岸駅の河津桜



## 感染症への対策

通学路の安全性・公園遊具設置

公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

### 新型コロナウイルス感染症について

**質問** 対策本部が設置されたが、このような問題にはさまざまな分野との連携が必要だと思いが、対策本部の構成員メンバーは誰か。市民への情報提供はどのように行うのか。また医療機関との連携体制については？

部局を中心に部長などで構成し、危機事案にオール三浦で対応している。

**保健福祉部長** 三崎保健所と、医師会・市立病院の受診時への対応など情報提供を行っている。

またホームページの情報は最新情報を掲載し、国及び県の最新情報にもリンクできるように設定した。

### 通学路の安全確保・公園遊具の設置について

**質問** 問もなく三浦縦貫道路Ⅱ期区間が開通し、交通量の増加が予想されるが、安全対策はどうか。みうらっ子応援プロジェクトにより三浦スポーツ公園に大型遊具を設置すると聞いたが内容は？

**教育部長** 登下校時には校長・教員をはじめ、PTAやボランティアの方

々の協力で、安全確保と指導を行っている。

**市長** 子育て施策において未就学児が遊ぶ施設の整備要望を直接市民の皆さんからご意見をいただいている。今回、より多くの子供たちが安心して遊べる遊具の整備計画を立て、三浦スポーツ公園を選定した。

**都市環境部長** 大型遊具の設置場所は、多目的グラウンドの北側の丘陵地である林間広場を考えている。安全性を第一に維持管理・地域性を勘案し遊具を整備する。



コロナウイルスの影響で閑散としたグラウンド

**総務部長** 市長を本部長として副市長以下、対処



## ごみの行方と施策

伝わる公文書、県住の建て替え

日本共産党 石橋むつみ

### 質問 新分別開始二ヶ月の収集現場の状況とパブコメにかかっている「ごみ処理基本計画(案)」の基本的な考え方を問う。

また市民が出したごみの中身を知るために、今まで組成分析がされてきたが今後どうなるのか。

**都市環境部長** 違反ごみの対応など打ち合わせを頻繁にして、ごみの収集業務が適切に行われるよう心がけている。

地球環境の問題や循環型社会の形成など、減量化及び資源化の重要性はさらに高まると考える。いわゆるごみの3Rにリフューズ、リペアを加えた5Rの推進に力を入れたい。

ごみの組成分析で三浦単独の数字をどう捉えていくかについては横須賀市と調整中である。

### 質問 市民にわかる情報を発信することは、市民から行政への信頼につながる。他市では複数職場が参加する「伝わる日本語」推進運動の例もある。わかりやすくするための取り組みとは何か。

**市長** 役所の文書は伝えたいことを多く織り込む余り、受け手にとって難解なものもある。文書作成の手引きを示す他、公用文について庁内で文書事務基本講座を毎年度開催しており、相手の立場に立ったわかりやすく正確な文書作りにも今後努めていく。

**質問** 昨年三月、県は県営住宅健康団地推進計画を発表した。二〇二三年までの前期建て替え計画を公表した。上宮田団地は入居者の高齢化だけでなく、建物も

老朽化し修繕や改修で安心安全の居住空間とすることが難しい状況にある。しかしこのあたりは三浦海岸駅にも近く三浦都市計画マスタープランでも交流核と位置づけている場所。県の健康団地という施策展開なども連動させ、情報をしっかりと掴み、住民にも市民にも住みやすい、交流できる地域にするような準備が必要ではないか。

**総務部長** 県の整備計画に関し具体的な連携は現在ない。全体概要の説明、工事期間の安全対策など十分な情報提供が得られるよう連携を図りたい。また、福祉やまちづくりの観点も踏まえた意見交換による連携も考える。

遊具の設置予定場所



築46年の県営上宮田団地



# 施政方針

二町谷、トップセールス  
自由民主党 出口 正雄

**質問** 市長は施政方針の中で三つの重点施策を位置づけている。どれも六次産業を成り立たせるための重要な項目と思うが、

最も重要な施策は二町谷だと思ふ。今後の見通しを聞く。

**市長** 株式会社安田造船所と締結した基本協定契約に基づき、令和元年十二月末日を目途として土地売買契約の締結に向け協議を進めてきたが、詳細のさらなる協議を行うため契約月の変更申し出があり、締結の時期を三月末に変更して土地売買契約の締結を目指し協議を継続している。

## トップセールス

**質問** 市長は三浦野菜の売り込みや遠洋マグロ漁船の誘致に加え、沿岸や沖合漁船の誘致をトップ

セールスとして取り組むとしている。これまでの手応えと成果、今後の取り組みの状況を聞く。

**市長** 令和二年二月に三浦市農協の組合長らと宮城県仙台市中央卸売市場、福島県福島市公設地方卸売市場、仙台市の仙台中央青果、福島中央青果などにセールスを行い、三浦野菜をもっと安定して市場に提供してほしいと要望をいただいた。三浦市農協からも再生産価格の確保、より高値での取引をお願いした。生産現場と市場が一体となって協力体制を築いていく共通の認識を持った。令和二年度も農協と連携して販路拡大、開拓が可能な地区などを検討・調整していく。

遠洋マグロ漁船等の誘致は令和元年度は水産物

協理事長をはじめ水産団体の皆様と、六月に静岡県、二月に福島県、茨城県、二月に福島県、茨城県を訪問し、三崎での取引について十分にPRできた。令和元年七月には平成三十年度にご挨拶した富山県の船主が所有する遠洋マグロ漁船の新造船一隻が三崎で水揚げしていたなど、徐々に成果につながっている。また、十二月に高知県のカツオ漁船の船主の会合に水産担当部長などが伺い、三崎漁港のPRと水揚げが多かった三社に感謝状を贈るなど、沿岸・沖合漁船の誘致にも取り組んでいる。全体の資源が細る中、三崎魚市場として、三崎漁港として業界と一体となった取り組みをしていくことが重要と思う。



東京都中央卸売市場 大田市場



# 高齢者の「み出し」

高齢者虐待・ラジオ難聴地域  
公明・みうらクラブ 溝川 幸二

**「高齢者の「み出し」」**

**質問** ごみ出しの困難な高齢者がいることを市では把握しているか？

**都市環境部長** 認識している。

**質問** 対策は？

**都市環境部長** 住宅の障害者・要介護度二以上等で、独居または同居者の協力が困難で、個別収集希望者には、ふれあい収集を実施している。

**質問** 八時三十分までにごみを出すという制限が高齢者のごみ出しを阻害していると感じる。実際、十三時に収集される地域もある。収集時間の時刻表を提案したい。

**都市環境部長** 道路事情による収集ルートの変更があり、収集時間も変更になる。時刻表の設置は困難と考える。

**要望** 今後、検討願う。

**「高齢者虐待について」**

**質問** 高齢者虐待が疑われる場合、相談窓口は？

**保健福祉部長** 保健福祉部 高齢介護課である。

**質問** 虐待と思しき相談の場合、市の対応は？

**保健福祉部長** 相談者から聞き取り、緊急性を判断。緊急時、情報集約し高齢者の安全確保を行う。

**質問** 虐待はどのように事実認定されるのか？

**保健福祉部長** 緊急ネットワーク会議を開き判定を行う。緊急性の有無についても然り。

**質問** 虐待認定されたが、被虐待者に判断能力がない場合、老人福祉法上、



増加傾向にある高齢者虐待

やむを得ない事由による措置「やむ措置」が実施できるが、三浦市には、この「やむ措置」の要綱がない。要綱を策定しないのか？

**保健福祉部長** 費用面等を勘案し、要綱制定に向けた検討を考える。

**意見** 高齢者虐待に関心を強く持ち、高齢者がより住みよい三浦になるように訴えていく。

**「ラジオの難聴地域」**  
**質問** AMラジオの受信不良地域があると聞く。良好に受信できるような策は行わないのか？

**市長** 電波の受信できない場所がある場合、何か対策を検討することになると考える。電波の届かない場所をつかむ必要もある。そこも含めて検討していきたい。

**要望** ラジオがファーストインフォーマー（第一情報提供者）として役割を確実に果たせるよううしていたきたい。



## 市立病院の存続

教育ビジョン、二町谷埋立地

日本共産党 小林 直樹

**質問** 昨年、厚生労働省は、公立病院に対し「再編統合が必要」として四百二十四病院を公表した。その中に三浦市立病院が含まれていた。

そして、二月二十七日に「三浦市立病院の存続を求める陳情書」が四千三百二十九名の署名とともに、市民団体から市に提出された。多くの市民が市立病院を頼りにしている証拠である。市立病院は、三浦市の地域医療の中核施設であり、存続させることが必要である。

**質問** 学校教育ビジョンでは、令和七年度に市内の八小学校を三小学校にしてしまう予定である。

小学校が三校になったら、学区が広くなり子どもたちは「長距離通学の負担」を強いられることになり、安全に通学できるのか非常に心配である。

また、教職員の人数が大幅に減ってしまい「教育の質が低下するおそれ」がある。

そして、児童数の推計では、令和二年度が四人と、児童が少なくなる小学校がある。

神奈川県は、市立病院を存続する方針である。県保健医療計画推進会議の承認を得て国に回答するということだが、いつ開催されるのか？

**病院事務局長** 三月六日に、開催される予定である。

**教育長**

一 中学校区一小学校の実現に向けて取り組みを進めていく。

## 二町谷埋立地の売却

（株）安田造船所と一

昨年の六月に基本協定を締結した。基本協定では、事業計画としてホテル、ヴィラ、コンドミニアム、商業施設等を予定している。

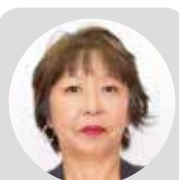
一日も早く、二町谷埋立地の土地が売れて、産業が起こり、地域経済を活性化させることが求められている。しかし、目途としていた昨年十二月末日までに、土地売買契約が締結されなかった。

現時点で、契約の締結について、どのように判断しているのか？

**市長** 三月を目前に、土地売買契約の締結を目指し協議を進めている。



利活用が望まれる二町谷埋立地



## あったかいまち

ゼロカーボンシティ宣言

自由民主党 神田 眞弓

**質問** 三浦市における安定した雇用の創出

具体的にどのような形で創業支援、事業承継が行われているか伺う。

**経済部長** 創業を希望している方や創業後間もない方々を対象にした創業支援セミナーを開催し、創業の基礎や失敗しない事例紹介をした。事業承継の支援もセミナーを開催、実際に事業承継に向けた具体的な相談を進めていくことになり、一定の効果があった。

**質問** みうらファミリー・サポート・センター

子供を預けたい人、預かる人たちが会員として登録し、互いに援助し合うファミリー・サポート・センターが子ども課に併設されたが、現在の状況や会員登録について伺う。

**保健福祉部長** みうらファミリー・サポート・センターを令和元年十二月に開設した。これは子供を預かる会員と子供を預けたい会員が、それぞれ提供会員、依頼会員となり、地域で子育てを支援する仕組みの制度で、子供を預かる提供会員には研修を受講してもらう。

**質問** 子育て世代包括支援事業

妊産婦医療費助成制度の創設や妊婦健診助成費の改善について伺う。

**市長** 妊産婦医療費助成制度の創設については診査支払機関との調整などハードルの高い課題があり厳しい状況である。妊産婦への支援として、令和二年から健康診査の二回目から十四回目までの助成費用を一回につき千円増額し五千円とした。

**質問** ゼロカーボンシティ宣言

二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指すのがゼロカーボンシティだが、毘沙門バイパス沿いに一般廃棄物最終処分場が完成し、二代目風力発電も間もなく完成し、さらにバイオマスセンターも稼働し、まさにこのエリアは三浦市の環境ゾーンと位置づけられる。これを契機に宣言してはいいかがか。

**市長** 三浦市もこれまで自然再生エネルギーの導入や廃棄物の減量化など二酸化炭素排出量の削減に取り組んできた。現在のところ、令和二年四月末に予定されている風力発電施設の正式な稼働開始の機会に表明できるよう準備を進める。



ゼロカーボンシティ宣言を待っている風力発電



## 学校教育ビジョン

気候変動非常事態宣言

公明・みづらクラブ 藤田 昇

**質問** 市長は、従前より重点施策として教育の充実を掲げられてきた。その集大成とも言える大きな改革が、三浦市学校教育ビジョンの推進だと感じている。未来社会を生きていくにつれ、子どもたちが力をつけていくために、よりよい教育環境を大人の責任で考え、提供することの計画を、市民の中に大きな議論を巻き起こすことを承知の上で提示をしていただいた。私は三浦市学校教育ビジョンの推進は必要不可欠であると考えている。改めて、市長の教育の充実に取り組む考えについて伺う。

**市長** 教育の充実、これは未来を担う子供たちの基本的な知識の充実や人間形成などを養うものであり、国として、三浦市としても、まず基本であり、政治、行政の責任だと思ふ。令和元年度には三浦市学校教育ビジョンを策定し、未来を見据えて小学校の再編に乗り出した。三浦市が、これまでもこれからも市民に愛される活気ある都市として存続するためには、教育の充実を目指して、市民と市が一体となって子供の未来のために努力し続けるということが必要であるという考えである。

**質問** 気候変動非常事態宣言について、世界の中で気候変動の最大の被害国は日本だという意見もある。そういって、本市も観光業や農業・漁業という第一次産業を基幹産業としているため、気候変動対策は喫緊の課題だと思ふ。市民及び農業・漁業、また、企業や関係団体とともに、SDGs



令和元年10月・台風19号

(持続可能な開発目標)の理念のもとに、地球温暖化対策を初め、災害対策、環境問題等に積極的に取り組むことの意味を示として、三浦市として気候変動非常事態宣言をすることを提案するが、市長のお考えを伺う。

**市長** 気候変動による生活への影響に加えて、農産物の生産に影響が出るなど、三浦市の主要産業である第一次産業に与える影響は小さくないと思ふ。このため、気候変動によってもたらされるさまざまな課題に対し、県や関係機関と協調し、気候変動に対する三浦市の意思を示すために、今後、宣言に向けて先行自治体の研究を進めたいと思ふ。

**質問** 来遊者の回遊性の向上について、東海岸を回ることで、幹線道路の渋滞対策に有効と考えるが如何か。

**経済部長** 三浦縦貫道路の開通に伴い、新しいドライブルートとして、観光協会のホームページへの掲載や首都高速道路大黒パーキングエリアに設置してあるパンフレットの活用など、今後も研究してまいりたいと考えている。

**質問** 太平洋岸自転車道について概要と期待される効果について伺う。

**都市環境部長** 三浦市は、沿岸の東海岸線から西海岸線を通るルートが設定されており、サイクルスタンドなどを備え、多くのサイクリストが立ち寄れる主要地点であるサイクルステーションに、三浦市は、

**質問** 新型コロナウイルス感染症拡大によりイベントが中止になる中で市はどのように働きかけをしているか伺う。

**経済部長** 市の主催のイベントについては法令等により実施する必要があ

るもの以外は原則中止または延期とする。それ以外のイベントはできる限りの感染予防策をとるよう依頼している。

**質問** 二町谷地区用地利活用プロジェクトの多目的用地の土地売買契約の締結について状況と見通しを伺う。

**市長** 三浦市と株式会社安田造船所との双方が、三月末の土地売買契約を目指して、鋭意全力で取り組んでいる。

**質問** 京急線一本で都心に通勤できる環境を生かし、駅周辺の規制を緩和し、集合住宅を建築しやすくする状況を整備することに伺う。

**市長** 都市計画マスタープランに沿ったまちづくりを進めながら、駅周辺の環境と秩序ある土地利用との調和を図れるよう、必要に応じて規制緩和を検討し、県との調整、まちづくり条例の見直しなど積極的に取り組む考えである。



## 観光振興について

二町谷地区・市民の暮らし

自由民主党 出口 眞琴

**質問** 昨年の台風被害を受けて、ことしの海水浴場の開設はどのようになるのか伺う。

**経済部長** 許認可等は、昨年の台風被害を受け、さまざまな指導がなされると想定される。

**質問** 許認可等は、昨年の台風被害を受け、さまざまな指導がなされると想定される。

**市長** 三浦市と株式会社安田造船所との双方が、三月末の土地売買契約を目指して、鋭意全力で取り組んでいる。

**質問** 京急線一本で都心に通勤できる環境を生かし、駅周辺の規制を緩和し、集合住宅を建築しやすくする状況を整備することに伺う。

**市長** 都市計画マスタープランに沿ったまちづくりを進めながら、駅周辺の環境と秩序ある土地利用との調和を図れるよう、必要に応じて規制緩和を検討し、県との調整、まちづくり条例の見直しなど積極的に取り組む考えである。

# 新型コロナウイルスへの緊急対策を求める意見書

中華人民共和国に端を発した新型コロナウイルスは、急速に感染範囲を広げ、我が国をはじめ多くの国と地域において死者を含め多数の感染者が発生している。

よって、国においては、国民の安心・安全を確保するとともに、不安を解消するため、早急に感染拡大の防止策を講じ、国民生活への影響、また、経済への影響を最小限に抑えるよう、以下のとおり強く要望する。

1. 検査・医療体制の更なる整備と充実を図ること。
2. 正確な情報を速やかに提供すること。
3. 国民生活と地域経済や各産業への影響を最小限にとどめるよう努めること。
4. マスクや消毒液など医療関係物資の安定した供給に取り組むこと。
5. 学校の臨時休業に伴う子どもたちの心のケアや家族への支援を実施すること。
6. 感染防止に向けた柔軟な働き方への支援と推進を行うこと。
7. 予防・診断・治療に向けた技術の早期確立に努めること。
8. 地方公共団体が実施する新型コロナウイルス感染症対策への財政支援を講ずること。

〈提出先〉

内閣総理大臣／財務大臣／総務大臣／外務大臣／厚生労働大臣／経済産業大臣／国土交通大臣

## 6月定例会日程案



令和2年第2回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
6月4日	木	招集告示
8日	月	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
11日	木	本会議（一般質問）
12日	金	本会議（一般質問）
15日	月	本会議（一般質問）
16日	火	総務経済常任委員会
17日	水	都市厚生常任委員会
19日	金	三浦国際市民マラソン事業に関する調査特別委員会
		選挙管理委員会の事務等に関する調査特別委員会
23日	火	本会議（委員長報告・採決）

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は6月5日（金）です。

**お家でも議会が  
見学できます！**

三浦市議会では、本会議のライブ映像を配信しています。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をごらんになってください。

三浦市議会  
ウェブサイトは  
こちらから⇒



議会の日程や会議録など、議会に関する情報がごらんになれます。

# 議会災害等対策本部を設置

## 新型コロナウイルスに対する議会での対応



三浦市議会災害等対策本部

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大に対して、令和二年二月二十五日に議長の宣告により、三浦市議会初の議会災害等対策本部が設置されました。

### \* 活動記録 \*

#### 二月二十八日

- ◎市・議会事務局からの報告を受けた。
- ・新型コロナウイルス感染予防に係る市の取組方針
- ・市が主催するイベントを三月三十一日まで中止すること

#### ◎議員から市へ質疑を行い、要望をした。

- ・小中学校の休校に向けて調整を行っていること
- ・神奈川県では、県の方針として患者に関する情報は保健所管内の単位で出されること

#### 三月三日

- ◎感染拡大予防として、対応の見直しを行った。
- ・傍聴は報道関係者を除いて不可とする
- ・常任委員会で説明を行う陳情者は二名までに限定する
- ◎決定事項は、市議会ホームページで周知することとした。

#### \* \* \*

▼今後も新型コロナウイルス感染症に対する市議会の対応（傍聴の可否、会議日程など）については、随時、三浦市議会ホームページでお知らせしていきます。

三浦市議会では、三浦市議会災害等対策本部設置要綱を策定しています。

議会災害等対策本部は、三浦市災害対策本部と情報を共有し、連携して災害等に対応します。

議長、副議長、会派の代表者及び議会運営委員会委員長をもって組織され、無所属議員がいる場合はオブザーバーとして出席します。

#### ◎市議会は、第一回定例会中であるため、本会議・委員会等での対応について検討し、次のことを決定した。

- ・市民からの問合せには、混乱を助長することがないように対応するよう要望した
- ・マスク着用や手指消毒の徹底を周知する
- ・感染予防のため、傍聴をご遠慮いただく
- ・議員が発熱等の症状があるときは、感染症の可能性を考慮し、無理に出席することなく療養する

#### 三月二十四日

- ◎日々感染が拡大している状況と市本部の対応を確認した。

#### 三月二十七日

- ◎定例会閉会後も、感染症に関する状況に速やかに対応できるように、引き続き議会災害等対策本部を継続することを決定した。

\* \* \*



新型コロナウイルス感染症に感染しない・広げないためには、一人ひとりができる対策として手洗い・咳エチケット等が呼びかけられています。

# 二町谷地区の土地売買契約を可決

「興和株式会社」が参画し、「株式会社安田造船所」と三者で締結

二町谷埋立地の利活用については、三浦市の最重要課題として、議会で本会議での一般質問や二町谷水産加工団地対策特別委員会などの特別委員会、全員協議会、常任委員協議会など、さまざまな場面で取り上げ、議論を重ねてきました。

## 二町谷埋立地のこれまでの経過

二町谷埋立地は、漁港経済の活性化を目指して、平成十九年に分譲が開始されました。

平成二十五年には、土地の約半分を売却する議案が提出され、可決しましたが、その後、契約が解除されました。

平成二十八年に発表された「二町谷地区海業振興を目指す用地活用プロジェクト」では、二町谷地区を水産関連施設事

業用地と多目的活用事業用地に分けて、進出事業者の募集が行われました。

水産関連施設事業用地には六者が進出しています。平成三十年六月の全員協議会では、市から、多目的活用事業用地の売買契約に向けて、株安田造船所と基本協定を締結することが報告されました。

安田造船所の計画では、ホテルや商業施設の建設が予定されています。基本協定の締結後は、

浮き桟橋の設置や、二町谷地区地区計画の変更等について、市と事業者、関係機関の間で協議が行われてきました。

今般、土地の売買契約締結に向けた協議が整ったことから、安田造船所と、新たに参画する興和株に土地を売却するため

## 今定例会での審議

本会議では、質疑が行われ

ました。浮き桟橋の位置や規模について、みうら漁協との協議は整ったのか。

市長 三月二十四日にみうら漁協の同意を得た。

浮き桟橋が航路の妨げにならないように、北側と西側に一本ずつ、岸壁に対して平行に設置することになった。

今後、具体的な事業計画が作成されるが、どのようなスケジュールで進められるのか。

市長 今後は、安田造船所と興和が共同で事業を実施していく。現時点では、おおむね一年をかけて事業計画をつくっていくと聞いている。

質疑の終了後は、総務経済常任委員会で審査が

されました。その後、本会議で審査内容の報告と賛成討論が行われ、全会一致で議案を可決しました。

※委員会の審査概要は二ページ、討論の概要は五ページをご覧ください。



建設されるホテルや商業施設のイメージ図

## 編集委員コラム

編集委員長

草間道治

昨年六月に議長に就任してから、議会改革の一環として、新たな「議会だより」の作成に取り組んできました。これまでの議会だよりの編集は、議会事務局にまかせる所もありましたが、現在は、編集委員会を中心に、自分たちで編集しています。

新たな「議会だより」は、これまでのタブロイド判二色からA四判一部カラーへ変更し、多くの市民の皆さまに読んでもらえる「議会だより」を目指して、サンプルで分かりやすい紙面作りと写真等を多く使用した構成を行い、文字の大きさも変更して読みやすくしました。

今回の紙面変更に伴い、編集委員会メンバーのほ



編集委員会での意見交換の様子

### 議会だより

#### 編集委員会

委員長 草間 道治  
副委員長 藤田 昇  
委員 石橋むつみ  
溝川 幸二  
出口 正雄

(欠席) 石渡 道臣

委員代理 蓮本 一朗  
オブザーバー 寺田 一樹